01 ご挨拶

02 ビジネスモデルを解く

03 社長インタビュー

05 2013年3月期 連結決算レポート

07 トピックス

09 シリーズ ダイコクストーリー

10 「DK-SIS白書2012」ダイジェスト

14 会社及び株式の状況

DK VOICE 3

第40期 株主通信 VOL.3

2012年4月1日→2013年3月31日

ダイコク電機株式会社

証券コード 6430

売上・利益で上場以来最高額を達成。引き続き収益基盤を強化し、中長期の成長を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解と格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当期（2013年３月期）の営業状況は、厳しい事業環境の中でCRユニットを中心とした新製品が好調に推移し、予想以上の成果を上げることができました。これにより当期の連結業績は、売上・利益ともに上場以来最高額を達成いたしました。引き続き中長期の成長を目指し、収益基盤の強化を進めてまいります。

その詳細につきましては、本冊子に掲載するインタビューに述べさせていただきましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長　栢森 秀行

ダイコク電機が展開する情報

情報が生み出す付加価値をパチンコホール・遊技機メーカー・パチンコファン
パチンコ業界を変革してきたダイコク電機。ここにそのビジネスモデルを解

はじめに、ダイコク電機の事業領域について

情報システム事業

当期の売上比率

53.8%

パチンコホール向けコンピュータシステムや景品顧客管理システム、情報公開機器など、ホール運営を支援するさまざまな機器・サービスを開発、提供します。

パチンコファンにとって、より快適で楽しめるホール環境を創り出すとともに、パチンコホールにおける経営効率の向上を実現し、市場の拡大に寄与します。

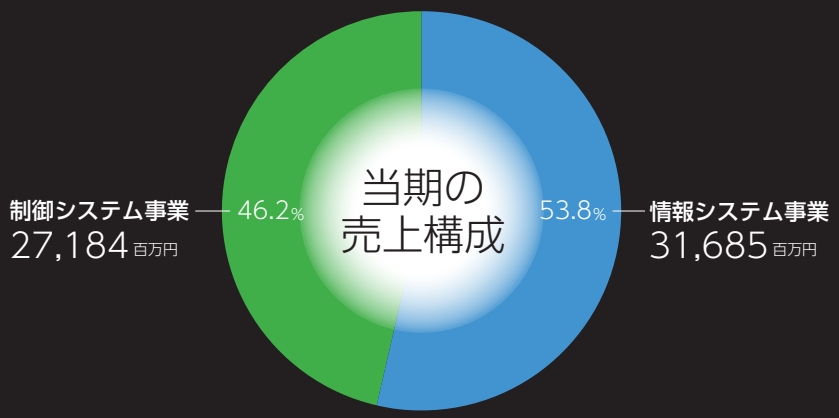
制御システム事業

当期の売上比率

46.2%

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示ユニットや制御ユニットのハードウェアおよびソフトウェアを開発、提供します。

遊技機メーカーのパートナーとして、製品企画から版権提案、データに基づいたスペック提案、セールスプロモーション、稼動支援まで、幅広くサポートします。



流通戦略とは？

の3者にもたらし、
説します。

情報流通 1 パチンコホールを変革する

パチンコファンの声を活かした「情報流通」が、ホールに変革をもたらしました。遊技の楽しさを倍増させ、ホールとファンとのコミュニケーションを実現する情報公開機器。そして、ファンの動向を捉えるコンピュータシステムと情報提供サービス。これらは、今やホール運営に不可欠な存在となっています。

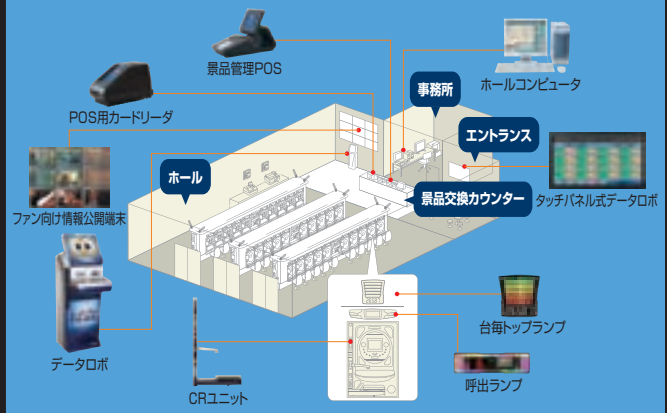
情報流通 2 遊技機メーカーを変革する

急速な技術革新の中でしのぎを削るパチンコ・パチスロ遊技機メーカー。時代のニーズにいち早く対応する「情報流通」が、表示ユニット・制御ユニット開発のカギを握ります。最新技術の導入によるコンテンツ制作等の先進性に加え、ファン動向のデータを活用した提案は、ダイコク電機の最も得意とするものです。

情報流通 3 パチンコファンを変革する

パチンコファンに対しては、ホールの情報公開機器で提供するコンテンツ以外にも、PC・モバイルサイトを通じて発信する加盟ホールの出玉情報や各種遊技機情報など、楽しさを伝えることでファンの行動を巻き込む「情報流通」を展開。ファンを変革する仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。

パチンコホールに提供する当社製品



ホールコンピュータを中心とする運営支援システムと、さまざまなファン向け情報公開機器が連動し、双方向コミュニケーションの拡充とともにホールを活性化します。

解説 ホールコンピューティングシステム「CⅡ」

パチンコホールの状況だけでなく、ネットワークを通じてファンの動向や遊技台の性能をリアルタイムに把握。ファンの声に基づいた集客戦略を実現します。

会員制情報提供サービス「DK-SIS」

当社と会員パチンコホールとの間に情報ネットワークを構築。業界髄一の規模で、日々変化する遊技機動向や営業データなど、付加価値の高い情報を提供します。

「DK-SIS」については P10 をあわせてご参照ください。

「MIRAIGATE」ネットワーク

システム・サービス・スタッフの3つの力を融合した価値提供サービス。ホールの営業戦略や、集客戦略、運用・管理などをトータルに支援します。

03 社長インタビュー

新分野への参入を含む事業構造改革を始動した新生ダイコク電機の初年度。
投入製品が高く支持され、業績は極めて好調に推移しました。
その取り組みと今後の展開について、代表取締役社長 栢森 秀行にインタビューしました。

CRユニットが躍進、
大幅な増収・増益を達成

Q 社長就任後1年間の取り組みを振り返って

A 昨年4月1日の新社長就任以来、社内改革の旗頭として最も力を入れてきたのは、よりレベルの高い開発への取り組みです。情報システム事業では、他社を圧倒できるような製品を開発するために、アイデアを育て、ものづくりをサポートしていく枠組みを構築していきました。制御システム事業では、遊技機メーカーの満足度をさらに高めるべく、製品の品質向上を追求し続けています。その努力の結果、自信をもってリリースできる製品が前期よりも増え、今後のリリースにおいても、優位性の確保が期待できる状況です。

私自身は、自ら開発プロジェクトを細かく指揮したり、品質をチェックするといった役回りではありませんが、レベルを高めていくためのモチベーションやクリエイティビティを引き出すべく、社内へのさまざまな働きかけを行っていきました。

Q 当期（2013年3月期）の営業状況は？

A 当期は、情報システム事業・制御システム事業ともに好調に推移し、期初の予想を上回る大幅な増収・増益を果たすことができました。

情報システム事業では、新たに参入したCRユニット事業の投入製品「VEGASIA」が高い評価を受け、パチンコホールへの導入が進み、当期末現在で約57,000台の販売実績となりました。また、「VEGASIA」の導入が他の情報公開機器の同時導入を促し、売上を大きく押し上げました。CRユニット事業は、システム管理料収入が毎月発生するランニングビジネスであり、継続的な売上による経営の安定化をもたらします。その意味でも当期は、事業の転換点になったと感じています。

一方、制御システム事業は、当社の制御ユニットが採用された複数の遊技機がヒットし、それに伴う売上拡大となりました。当事業は、遊技機メーカーの機種リリースとそのヒットに業績が大きく左右されます。当社では、さらなる採用の拡大に向けて遊技機メーカーの信頼を獲得すべく、引き続き品質レベル向上に力を入れていきます。

当期から本格参入したパチスロ事業では、昨年11月に子会社DAXEL株式会社のブランドで「BASTERD!!」を投入しました。当期中のリリースはこの1機種のみとなりましたが、今年5月には新機種「まじかるすいーとプリズム・ナナ」を投入し、好評を得ています。

今期を仕込みの時期として、
次の成長への飛躍

Q 中長期の成長を目指す展開について

A 情報システム事業では、CRユニットの導入ホール数について10年間で1,000件を目指します。年間100件ずつ着実に積み上げ、安定的な収益基盤を築いていきます。また、中期的な取り組みとして、ホールコンピューティングシステム「CⅡ」に続く新たな基本システムの開発をスタートしました。他社が追従できない圧倒的な製品をつくり上げるべく、今までにないアイディアをつぎ込んでいく予定です。

制御システム事業では、先に述べました制御ユニットの品質レベル向上への取り組みと並行して、パチスロ事業においてヒット機種を生み出すべく、社内・社外の開発体制を強化し、緊密に連携させていきます。

こうした展開を見据え、今年4月に新たな組織改革

事業の転換期として「仕込み」を推進。将来にわたる高

CRユニットとは？

CRパチンコ・パチスロ遊技機と接続して玉貸操作を行う機器。近年では多機能化が進み、遊技中のファンの利便性を高めている。

を実施しました。その一つは、情報システム事業における「戦略部」の新設です。営業本部の直轄部署として、ホールコンピューティングシステムを拡販していくための販売戦略を立案します。

もう一つは、情報システム事業部・制御システム事業部それぞれの生産・物流部門を統合し、「生産本部」としたことです。当社は、自社工場を持たないファブレス企業ですが、これからの成長に向けて国際レベルの生産能力を確保すべく、仕入・製造機能を集約し、いいものを低コストでつくる体制を強化していきます。

当社はこれらの取り組みを通じ、中長期的には現在の倍の事業規模を実現していきたいと考えています。

Q 今期（2014年3月期）の見通しは？

A 今期は、制御システム事業における制御ユニット導入機種が当期実績より減少する見込みです。そのため、今期の業績は一時的に反落し、減益となる予想です。当社は、この1年間を次の飛躍に向けた「仕込みの時期」と位置付け、「新基本システムの開発」「品質レベルの向上」「OEM生産体制の強化」「パチスロのヒット機種創出」という4つの仕込みを着実に進めていきます。その取り組みには十分な手応えが感じられ、方向性として成長軌道上にあると捉えています。

パチンコ業界において、当社はさまざまな方向に事業の枝葉を伸ばし、強固な骨格を形成しつつあります。今後期待される景気回復傾向の中で、これらの仕込みが実を結び、将来にわたる高水準な成長を実現していけるものと確信しています。

Q 株主の皆さまへのメッセージとして

A 今回の期末配当は、当期業績における利益拡大を反映して大幅に増配し、1株当たり70円（前期比40円増）とさせていただきました。これにより、中間配当と合わせた年間配当額は、上場以来最高額の同90円（前期比50円増）となりました。当社はこれからも、一定額の安定配当を最低水準として維持した上で、業績の拡大に応じ、利益還元を拡充させてまいります。

当社は今後、サブカルチャーなどが持つコンテンツの豊かさを取り入れたものづくりを目指します。私自身、サブカルチャーに親しんで育った世代でもあり、経営者として、新しい感覚を強みとした高品質なものを生み出すことに挑戦したいと思っています。

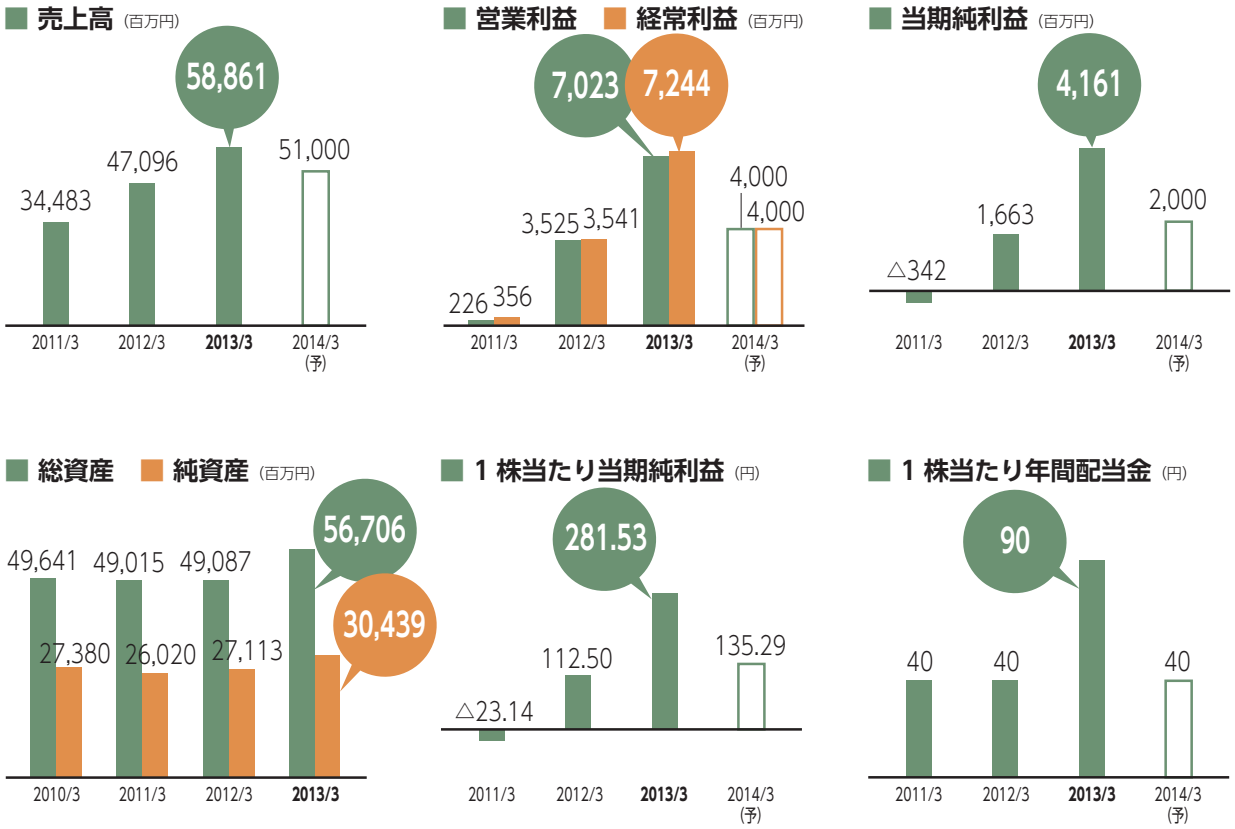
株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

水準な成長の実現へ。

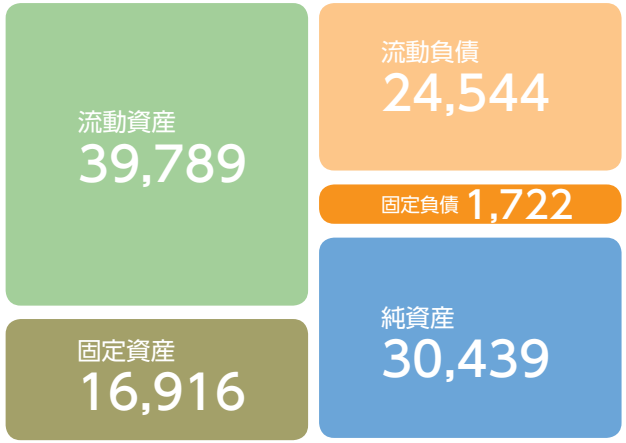
代表取締役社長　栢森 秀行

新製品CRユニットや情報公開機器、遊技機用表示ユニットが好調

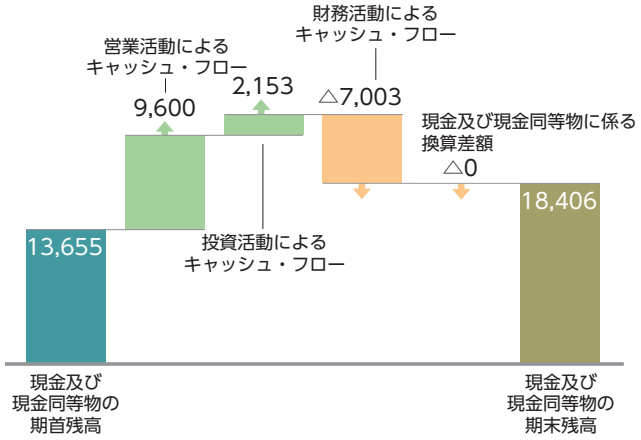
主要経営指標等の推移



資産の状況 (百万円)



キャッシュ・フローの状況 (百万円)



当期のポイント ▶

❶ 4月に発売したCRユニット「VEGASIA」は、ホール店舗システムとの一体化による機能性の向上が高く評価され、販売が好調に推移。
❷ 表示ユニットの販売が好調に推移し、周辺部品の販売も増加。

セグメント別の状況

当期の営業概況

※当期より、報告セグメントの区分を変更しており、下記のグラフの前期までの数値については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で掲載しております。

情報システム事業

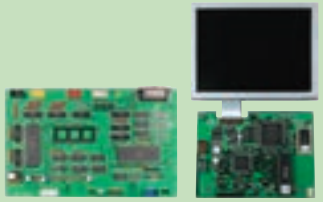
MIRAIGATEネットワークを活用したホール支援サービス「ＣⅡスタンダード」の拡充を推進しました。CRユニット「VEGASIA」は、機能性の向上が高く評価され、また、台毎データ表示機「BiGMO」及び呼出ランプ「IL-X」は、ファンに分かりやすく表示する先進性が市場に受け入れられ、販売が好調に推移しました。この結果、売上高は316億85百万円（前期比23.1％増）、営業利益60億69百万円（同26.6％増）となりました。

対処すべき課題と次期の見通し

売上高 31,000 百万円　営業利益 5,500 百万円

CRユニット「VEGASIA」や情報公開機器の拡販に努め、MIRAIGATEサービスを更に強化し、より強いホール経営サポート体制の構築により顧客満足度の向上を図るなか、次世代主力製品群開発への積極投資を開始します。売上高310億円（前期比2.2％減）、営業利益55億円（同9.3%減）を計画しております。

制御システム事業



グループ企業との業務範囲・役割の再構築を行い、ソフト、ハードの企画提案に努め、表示ユニットの販売は好調に推移しました。また、液晶パネルやメモリ、モーター等の周辺部品の販売も増加しました。この結果、売上高は271億84百万円（前期比27.2％増）、営業利益29億30百万円（同402.0％増）となりました。

売上高 20,000 百万円　営業利益 400 百万円

『顧客への貢献』を第一に考えたなかで、体制見直しにより企画提案力や開発の品質を追求し、顧客からの信頼が向上するよう努めてまいります。売上高200億円（前期比26.4％減）、営業利益4億円(同86.3%減)を計画しております。

新製品の発表やセミナーの開催、IRイベントなどダイコク電機の「今」をお伝えします。

NOW 台毎メダル計数機「VEGASIA-MK」

2013年4月にCRユニット「VEGASIA」シリーズのパチスロ用のメダルサンドとして、台毎メダル計数機「VEGASIA-MK」をリリースいたしました。

台毎メダル計数機能に加え、セキュリティ対策、営業演出対応、ファンの利便性を追求した機能などを施した製品となっています。VEGASIA-MKは今後パチスロ市場の新しい分野を開拓する製品となっていくと期待しています。

VEGASIA

セールスポイント！

最強のセキュリティ

CⅡシステムとの連動により不正計数対策、電波不正対策、メダル口径不正対策、ホッパー不正対策など、最強のセキュリティを実現しました。

また、ICカードの盗難対策（機能名称：安心ロック）機能も搭載しており、ファンの安心にも配慮しました。安心ロックは他社にない機能として好評をいただいております。

周辺機器連動による営業演出

台毎データ表示機「BiGMO」、呼出ランプ「IL-X」、玉箱ランプ「DECOREO」など周辺機器との連動により、箱積み営業と同等の営業演出が可能で、営業演出での賑わい感を創出できます。

ファンの利便性を追求

台毎計数機能により、ファンは台に座ったままメダルを計数でき、カード1枚でらくらく台移動ができます。

また、メダル残枚数の調整ができる事や、閉店時に島端計数機にならぶ事が不要なため、閉店間際まで遊技ができるという事がファンから大変好評を得ています。

NOW マルチユニット「アクリシアⅡ」

2013年7月にマルチユニット「アクリシアⅡ」をリリースいたします。

「アクリシアⅡ」はファンの快適な遊技をサポートする機能と、ファンの遊技プロセスを可視化できる機能を搭載したマルチユニットとなっています。

AQULESIA Ⅱ

セールスポイント！

★快適な遊技サポートと新分析データを提供！

● **「ナノイー」**（オプション装備）

「ナノイー」技術によりホール内のニオイ、アレル物質、カビ菌等を抑制し、快適な遊技空間を創ります。

● **「顔認証カメラ」**（オプション装備）

台毎カメラによるファン動向分析で、新たなホール管理の実現を支援します。

● **「POPホルダ」**（標準装備）

A4サイズのPOPが収納可能。遊技台説明などの案内下敷きを収納する事ができます。

● **「ドリンクホルダ」**（標準装備）

収納式ドリンクホルダ搭載。CRユニットに隣接した際に、カードの抜き差しが容易にできる工夫などを施しています。

● **「USB充電」**（標準装備）

スマートフォンや携帯電話の充電ができるので、長時間遊技する際に便利な機能です。

NOW DAXEL株式会社製 パチスロ遊技機

まじかるすいーと プリズムナナ MAGICAL SUITE PRISM NANA

タッチセンサー搭載の18.5インチ全面液晶上でアニメとパチスロが競演！！

DAXEL株式会社より「まじかるすいーとプリズム・ナナプロジェクト」におけるメディアミックスの一環として、パチスロを2013年5月に発売しました。

「まじかるすいーとプリズム・ナナ」は、キャラクター原案に人気イラストレーターである「カントク」、映像にアニメーション会社「シャフト」という夢のコラボレーションによる新アニメーション企画です。

声優陣もイタル役「三森すずこ」、アスカ役「今井麻美」、コトネ役「喜多村英梨」と今が旬の豪華キャスティングとなっています。

アニメ放映前に発売した本機種は、魅力的なコンテンツに負けないようゲーム性を作り込んだパチスロとなっています。

NOW DK-SISセミナー2013開催

2013年2月5日の仙台会場を皮切りに、全国6会場で2部構成の「DK-SISセミナー2013」を開催しました。

第１部	未曾有の危機を乗り越えろ！ ファンの信頼を取り戻す戦略とは
第２部	機種のファンから店舗のファンへ！ 激動するパチスロ時代を勝ち抜くためには

セミナー内容につきましては、第1部のメインは「一物一価の遵守」による10割営業などの低損益分岐営業が増えるなか、パチンコにおいて長期的にファンに満足していただく活用が難しいことを指摘したうえで、ファンの「不満足」を軽減していく活用を提案しました。

具体的には、確変・時短中に上皿の玉が無くなり、上皿へ玉を補充するという不満足に陥らない管理方法や、大当り中のアタッカー解放中にカウントが満たない状況となり、ファンにとって一番の至福のときである大当り中がストレスとならないよう管理していくことの重要性を訴えました。

第2部では、好調な業績を続けていたパチスロのARTタイプが、2012年後半から業績の下落が目立つ結果となったことを背景に、いま一度ノーマルタイプの重要性とARTタイプの業績下落の要因について説明しました。ノーマルタイプについては、代表的な機種を例に、店舗の花形機種として土台を構築していくためには中間設定をメインのモード活用が鍵となることを解説しました。

また、ARTタイプの業績下落の要因として、大型機種においてメーカー発表の出玉率よりも実際にファンが遊

技した結果の実績出玉率が大幅に低くなっている状況に対し、低モードの使用比率が昨年と比較して変わっていないことがファンの疲弊を進めてしまっているとの危機感を示しました。

今後も膨大なデータ量を誇るDK-SISデータを基に、業界の発展につながる提案をし続けてまいります。

開催日程	会　場		受講者数
２月５日	仙台会場	仙台国際ホテル	170名
2月13日	東京会場	ガーデンシティ品川	500名
2月21日	名古屋会場	名古屋東急ホテル	350名
2月27日	大宮会場	パレスホテル大宮	200名
３月５日	福岡会場	ホテル日航福岡	200名
3月12日	大阪会場	ニューオータニ大阪	400名

NOW 名古屋証券取引所主催「株式投資ウィンターセミナー2013」に参加

2013年3月9日(土)に名古屋市の中電ホールにて開催された名古屋証券取引所主催の個人投資家向け企業説明会「株式投資ウィンターセミナー2013」に参加いたしました。

当社の説明には約350名の方にご参加いただき、社長の栢森秀行から業界動向や事業内容、今後の戦略等の説明をさせていただきました。ご来場いただきました株主・投資家の皆さま、誠にありがとうございました。今後も継続的にIR活動を行い、当社の知名度・認知度の向上に努めてまいります。

09

シリーズ
ダイコクストーリー
「ものづくり探訪録 2」

最後発のCRユニット事業で大躍進
「VEGASIA」開発レポート

パチンコ業界に新たな価値を提供し続けるダイコク電機。その「ものづくり」にまつわる物語をシリーズでお届けします。第2回目は、CRユニット事業参入を果たした「VEGASIA」を採り上げます。

語り手
ダイコク電機株式会社　情報システム事業部
事業推進部　開発1課　開発2係
主任　瀬口 浩之（せぐち　ひろゆき）

●ホールのメリットと「ファンファースト」を重視

CRユニットは、遊技機の台間に設置され、玉貸操作を行う機器です。当社がCRユニット事業への参入を決定し、「VEGASIA」の開発をスタートしたのは、2010年4月。最後発としてのチャレンジであるだけに、ハードルの高い開発プロジェクトとなりました。

機能の策定において重視したテーマが2つあります。1つは、ホール運営上のメリットを考えた差別化要素。もう1つは、パチンコユーザーにとって「こうあってほしい」という利便性や付加価値を追求する「ファンファースト」の目線です。この2つを念頭に、他社製品の動向を徹底調査するところから始まりました。

●機器連動とユーザビリティ、液晶にもこだわり

ホール側の導入メリットとして強く打ち出したのが、ホールコンピュータ「CⅡ」との連動です。従来のCRユニットではできなかった運営管理の一体化を実現し、不正検知などセキュリティ面の強化を果たすとともに、オプションの顔認証システムを使ったファン動向の分析も可能としました。また、「BiGMO」「IL-X」といった当社の情報公開機器とも連動し、演出効果をより高めることができます。

パチンコユーザーに対しては、少量貸出機能や会員カード・一般カードの合算機能など、今までになかった利便性を提供しました。一見するとホールの収益に相反する少量貸出も、ひいては集客拡大に寄与することが、ホール側にご理解いただける結果となっています。

液晶表示のデザインも、当社のこだわりを見せた要素です。情報公開機器の開発等で培ってきたクリエイティビティを発揮し、見やすく鮮やかな表現を行いました。

●機器連動に高評価、大手ホールが積極導入

2年間の開発期間を経て誕生した「VEGASIA」は、発表と同時に大きな反響を呼び、予想を上回る販売成果となりました。特に機器連動への評価が高く、大手ホールで積極的に導入していただいたことが、売上を牽引しています。

今後は、改良点を次のラインナップに盛り込んで、さらに進化させつつ、「ecoパチ」など新しい遊技機に対して何ができるか、ということも考えていきたいと思います。

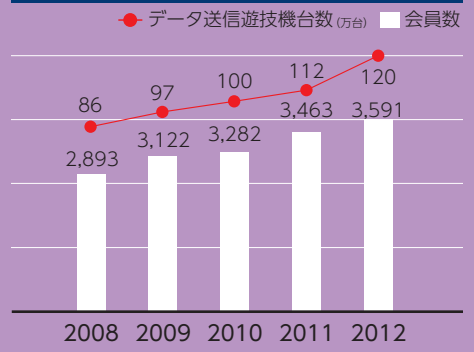
「VEGASIA」開発の流れ

2010年4月	開発プロジェクトスタート	
この間、約5ヵ月	機能の策定	他社製品の動向調査 ホールの導入メリットと「ファンファースト」の視点をいかに打ち出し、カタチにするか？
2010年8月	仕様書の決定	
2011年8月	機構設計／試作	保安通信協会の認可取得 厳しい試験をクリア
2012年2月	量産開始	フィールドテスト 協力ホールでの試験的導入
2012年4月	製品リリース	

「DK-SIS白書2012」DIGEST（ダイジェスト）

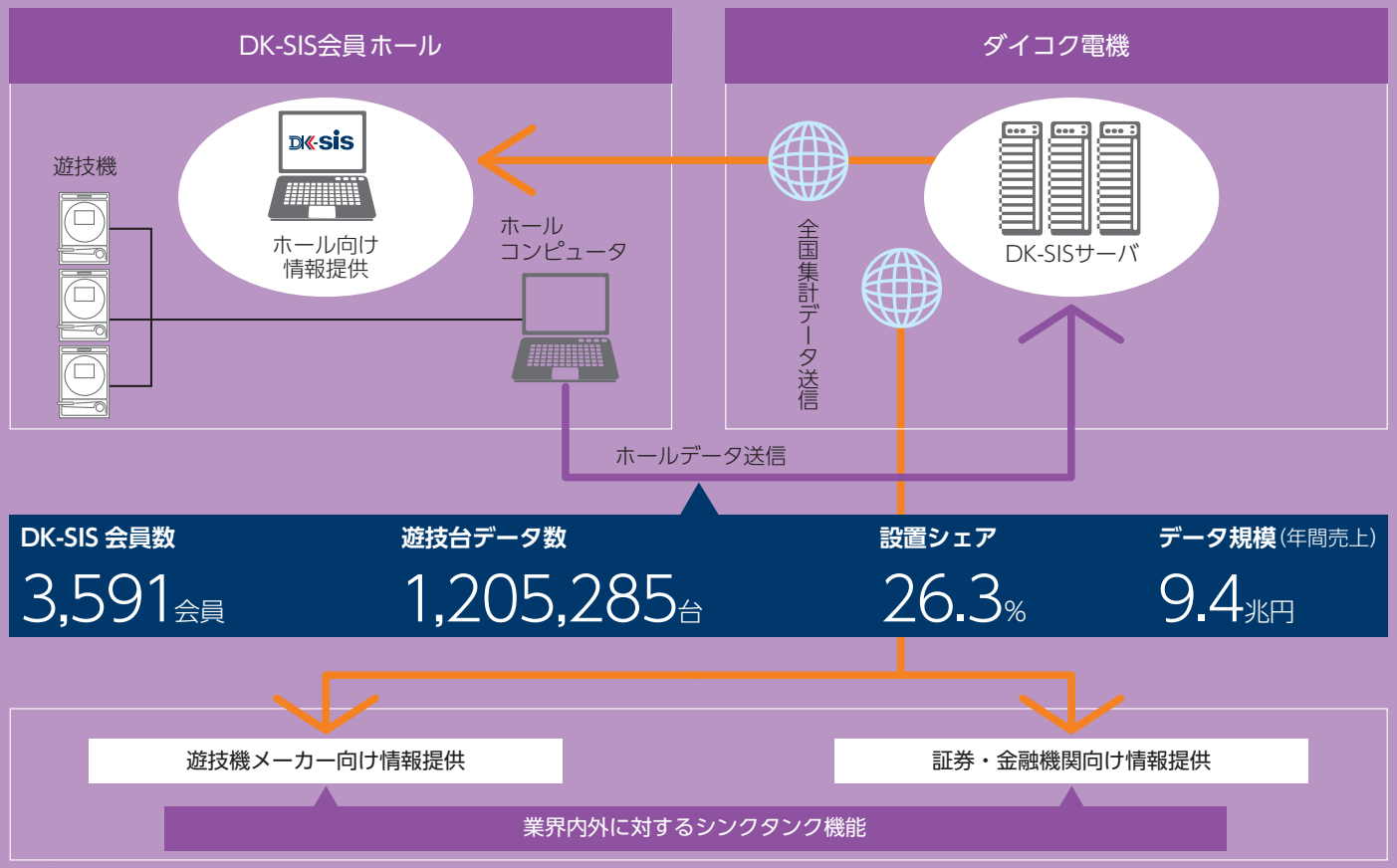
「DK-SIS白書」は、ダイコク電機の会員制情報提供サービス「DK-SIS」を通じて、会員ホールからお送りいただいた情報を収集・分析し、パチンコ業界の現状と今後の動向予測をまとめたレポートです。
ここでは、株主の皆さまに業界と市場へのご理解をより深めていただくために、その内容の一部をご紹介します。

会員数・データ送信遊技機台数　推移グラフ



用語説明

稼動時間	遊技機1台が1日に稼動した時間
売上	1日・1台当たりの貸玉(コイン)金額
粗利	1日・1台当たりの粗利金額
低貸玉営業	貸玉料を下げた営業形態

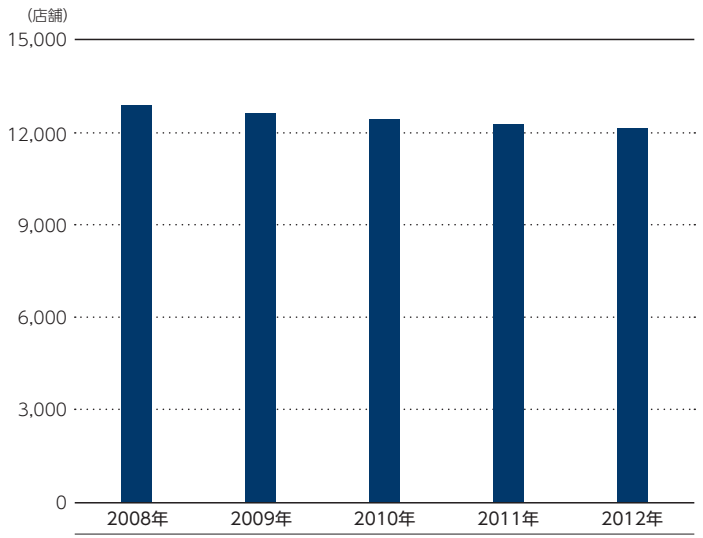


DK-SISとは？　「DK-SIS」は、1990年（平成2年）に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに付加価値の高い各種データを提供する顧客支援システムです。

Point

店舗数の緩やかな減少傾向に歯止めがかからず全体の遊技機設置台数は横這い。

店舗数の推移



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	対前年比
パチンコホール数	12,937	12,652	12,479	12,323	12,149	△1.4%
うちパチスロ専門店	1,137	930	903	931	971	4.3%

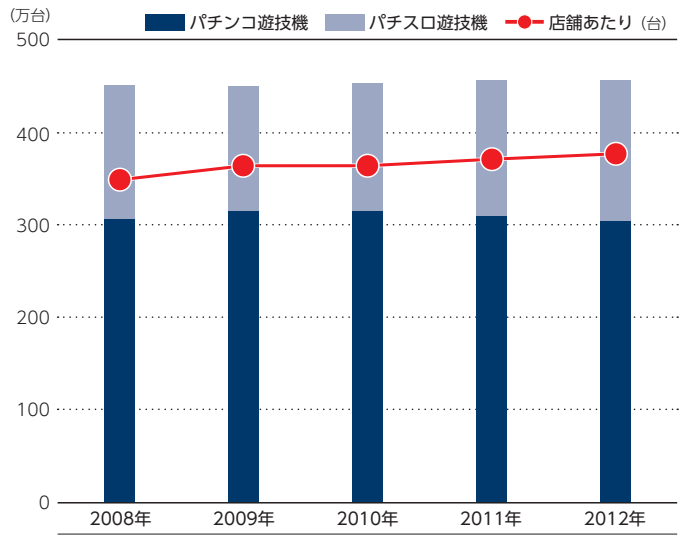
資料の出処：「平成 24 年中における風俗関係事犯の取締状況等について」

2012年の店舗数は若干ながら減少しました。この緩やかな減少傾向は10年以上変わっていません。そのような中、パチスロ専門店は2年連続で増加しました。

設置台数別店舗数推移

	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		
	店舗数	%	店舗数	%	店舗数	%	店舗数	%	店舗数	%	前年比
100 台以下	538	4.2%	464	3.7%	463	3.7%	370	3.0%	340	2.8%	△8.1%
101～300	5,664	43.7%	5,374	42.4%	5,216	41.9%	5,066	41.1%	4,853	39.9%	△4.2%
301～500	4,649	35.9%	4,627	36.6%	4,585	36.7%	4,499	36.5%	4,411	36.3%	△2.0%
501～1,000	1,976	15.3%	2,069	16.4%	2,076	16.6%	2,218	18.0%	2,355	19.4%	6.2%
1,001 台以上	110	0.9%	118	0.9%	139	1.1%	170	1.4%	190	1.6%	11.8%
合計	12,937	100.0%	12,652	100.0%	12,479	100.0%	12,323	100.0%	12,149	100.0%	△1.4%

遊技機設置台数の推移



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	対前年比
遊技機設置台数（万台）	453	451	455	458	459	0.2%
パチンコ遊技機（万台）	308	316	316	311	304	△2.1%
パチスロ遊技機（万台）	145	135	139	147	155	4.9%
店舗あたり（台）	350	365	365	372	378	1.6%

資料の出処：「平成 24 年中における風俗関係事犯の取締状況等について」

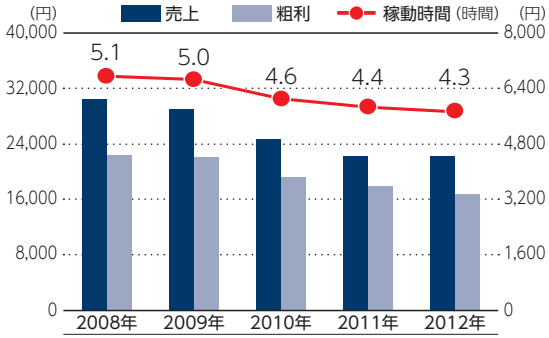
遊技機設置台数は、全体の遊技機設置台数はほぼ変化がないものの、パチンコ・パチスロ別ではパチンコ遊技機の設置台数が減少した一方で、パチスロ遊技機の設置台数は増加しています。

2012年の設置台数別店舗数では、2011年に比べ設置台数500台以下の小規模・中規模店舗は減少する一方、設置台数が501台以上の比較的大規模な店舗は増加しました。また、店舗あたりの平均設置台数は378台となり、全体の店舗数が減少するなか、増加の一途をたどっています。

Point

パチンコは4円パチンコの業績低迷により下落傾向が続く。パチスロは5号機へ完全移行後、最高業績を更新。

「DK-SIS」パチンコ動向の推移（パチンコ遊技機１台当たり）

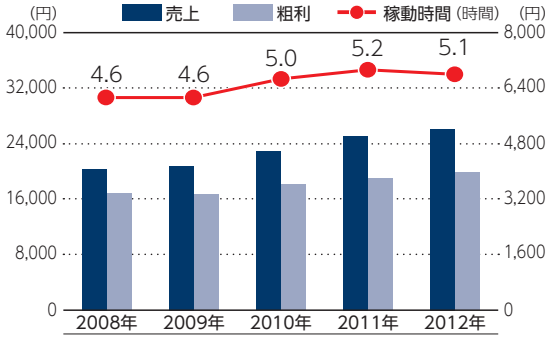


	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	対前年比
稼動時間	5.1	5.0	4.6	4.4	4.3	△2.3%
売上	30,496	29,044	24,729	23,048	22,065	△4.3%
粗利	4,473	4,424	3,838	3,608	3,364	△6.8%

2012年のパチンコ機1台当たりの業績は、2011年と比較して稼動時間、売上、粗利のすべてにおいて下落しました。

2009年頃から下落傾向が大きく現れており、歯止めのかからない状態となっています。

「DK-SIS」パチスロ動向の推移（パチスロ遊技機１台当たり）



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	対前年比
稼動時間	4.6	4.6	5.0	5.2	5.1	△1.9%
売上	20,333	20,757	22,803	25,123	26,122	4.0%
粗利	3,379	3,350	3,624	3,809	3,951	3.7%

パチスロ機1台当たりの業績は、2009年以降稼動時間、粗利ともに上昇を続けていましたが、2012年においては稼動時間が減少に転じました。

粗利は増加しており、じわじわとファン離れが起こりつつある状況と思われます。

DK-SISで見る2012年遊技機動向

●パチンコ粗利貢献BEST5

順位	機種名	タイプ	メーカー	寿命週（週）	期間平均台粗利（円）
1	CR牙狼魔戒閃騎鋼	マックス	サンセイアールアンドディ	(継続中)48	5,062
2	CRリング呪いの７日間	ミドル	藤商事	32	7,052
3	CRヤッターマン	ライト	平和	29	6,667
4	CRリング呪いの７日間	ライト	藤商事	(継続中)33	5,393
5	CR地獄少女	ライト	藤商事	29	5,993
	４円パチンコ平均			8.7	4,083

2012年登場機種で最も粗利貢献した機種はマックスタイプの「CR牙狼魔戒閃騎鋼」（サンセイアールアンドディ）となりました。今までに登場した「牙狼」シリーズの中でも、初代の「CR牙狼」に最も近い出玉性能を持っていることがファンの支持を集め、高い粗利貢献となった理由であると考えられます。

タイプに目を向けると、ライトタイプが3機種ランクインしており、全体の結果を見ても同様にライトタイプの粗利貢献が高い機種が多く、長寿命となることで粗利貢献も高くなる機種が多くなったといえます。

●パチスロ粗利貢献BEST5

順位	機種名	タイプ	メーカー	寿命週（週）	期間平均台粗利（円）
1	ニューアイムジャグラーEX	ノーマル	北電子	(継続中)46	4,025
2	バジリスク～甲賀忍法帖～Ⅱ	ART	メーシー	(継続中)36	4,974
3	シオサイ	30Φ	パイオニア	(継続中)33	4,590
4	パチスロ聖闘士星矢	ART	三洋物産	13	10,137
5	麻雀物語２激闘！麻雀グランプリ	ART	平和	(継続中)13	9,945
	20円パチスロ平均			9.0	4,256

2012年登場機種で最も粗利貢献した機種はノーマルタイプの「ニューアイムジャグラーEX」（北電子）となりました。2012年8月に設置から約6年を迎えて認定切れとなりました「アイムジャグラーEX」の後継機種として登場し、高い粗利貢献となりました。

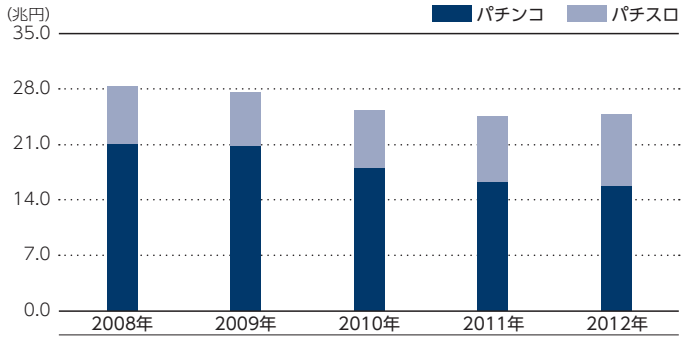
上位20位までではARTタイプが16機種と80%を占めており、2012年では他のタイプに比べて寿命週が短い場合でも時間粗利が高くなったことが要因として考えられます。

13 「DK-SIS白書2012」ダイジェスト

Point

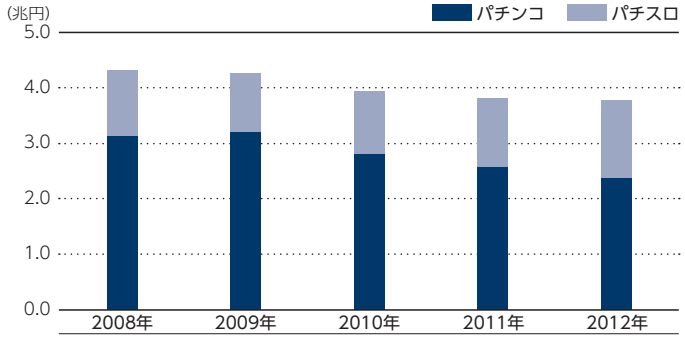
パチンコホール全体の売上・粗利規模は下落傾向が続き、2009年以降好調だったパチスロも業績に陰りが見える。

「DK-SIS」の推測する市場売上規模の推移



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	対前年比
売上合計	28.4	27.6	25.3	24.6	24.8	0.8%
パチンコ	21.2	20.9	18.1	16.4	15.7	△4.3%
パチスロ	7.2	6.7	7.2	8.2	9.1	11.0%

「DK-SIS」の推測する市場粗利規模の推移



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	対前年比
粗利合計	4.32	4.27	3.95	3.82	3.78	△1.0%
パチンコ	3.12	3.19	2.80	2.58	2.40	△7.0%
パチスロ	1.20	1.08	1.15	1.24	1.38	11.3%

パチンコ業界の市場規模（売上規模）を「DK-SISデータ」から推測しますと、業界の売上規模は約24.8兆円、粗利規模は約3.78兆円となりました。売上規模は微増になっているものの、DK-SISで業界の状況を表す最も重要な指標と考えてる粗利規模は下落傾向が続いており、市場を取り巻く環境はさらに厳しくなっていると言えます。

パチンコ・パチスロ別で見ますと、業界総売上・総粗利ともにパチンコは下落したもののパチスロは2009年以降上昇を続けており、パチンコからパチスロへの移行がさらに進んでいると思われます。

●今後の業界動向推測

業界全体の市場規模は、緩やかな下落傾向が続いていると言えます。DK-SISで見る2012年の市場規模は2011年と比較してほぼ横這いに留まっていますが、2011年は東日本大震災による営業日数減の影響が大きいため、実態はこの数値よりも厳しくなっていると考えます。

パチンコ・パチスロ別で見ますと、パチンコは引き続き低調な業績が続いている一方で、これまで好調に推移してきたパチスロの業績に陰りが見えつつあります。その大きな要因として、パチスロ機の出玉性能が徐々に上昇を続ける中、ファンに過度の負担が強いられ、その結果ファン離れに繋がりつつあると考えられます。

これは、過去に業績を落としてしまったパチンコの構図との共通点が多く、業界にとって大きな懸念材料といえます。偏った遊技機バランスの見直しが早急に実施されない場合、パチスロにおいても低貸玉営業への流出を食い止めることは難しく、結果として今後の業績に多大なる悪影響を及ぼすものと想定されます。

当社の「DK-SIS」におきましては、DK-SIS会員の営業データをベースとした業界分析から、業界の向かうべき方向を示し続けることが最も大きな役割であると考えています。今後もご支援のほどよろしくお願いいたします。

会社概要

商　　号	ダイコク電機株式会社 DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創　　業	1964年12月
設　　立	1973年 7月
資 本 金	6億7千4百万円 (発行済株式総数14,783,900株)
本　　社	名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
従業員数	(単独)455名　(連結)603名
事業内容	パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売 パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決 算 期	3月31日
事 業 所	4事業所、4支店、12営業所
関係会社	元気株式会社、DAXEL株式会社

役員 (2013年6月27日現在)

代表取締役会長	栢森雅勝
代表取締役社長	栢森秀行
代表取締役専務	栢森健
取締役	岩根節雄
取締役	丹羽時重
取締役	根本弘
取締役	吉川幸治
取締役	佐藤信悟
取締役	栢森啓
取締役	國保德丸
取締役	足立芳寛
常勤監査役	伊東幹夫
監査役	村橋泰志
監査役	田島和憲

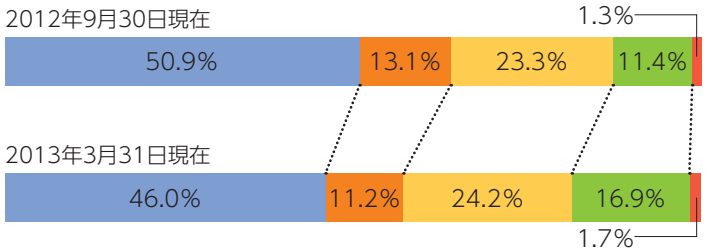
(注) 1.取締役 國保德丸氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2.監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	66,747,000 株
発行済株式総数	14,783,900 株
株主数	3,150 名

所有者別株式分布状況

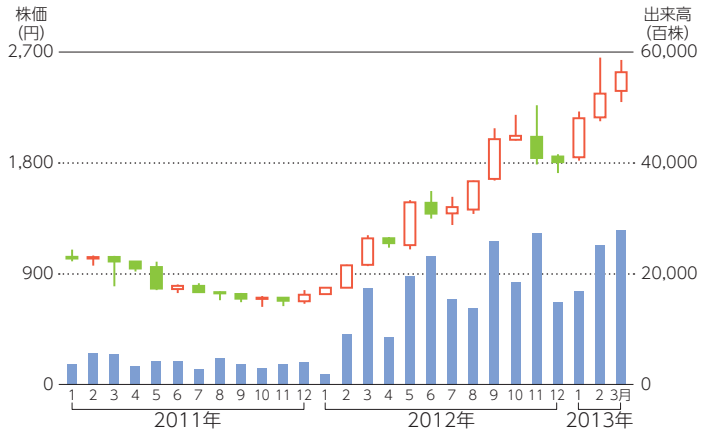
	2013年3月31日現在		2012年9月30日現在	
	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)
個人・その他	6,800,731	2,920	7,516,873	3,039
金融機関	1,656,600	25	1,941,600	26
その他国内法人	3,583,100	51	3,448,500	61
外国人	2,496,177	122	1,689,111	101
証券会社	246,804	31	187,428	23
自己名義株式	488	1	388	1
合　計	14,783,900	3,150	14,783,900	3,251



大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森　健	1,772,200	11.98
栢森　雅勝	1,517,750	10.26
栢森　秀行	1,034,700	6.99
栢森　美智子	926,000	6.26
栢森　寿恵	813,350	5.50
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	505,200	3.41
栢森　新治	437,150	2.95
ダイコク電機従業員持株会	268,985	1.81
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	256,861	1.73

株価及び出来高の推移

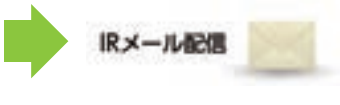


■ 電子メールによる当社IR情報の配信

当社は、投資家の皆さまへ電子メールによる IR 情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた皆さまには当社ホームページ(http://www.daikoku.co.jp)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。
IR 情報配信サービスをご希望の方は、当社ホームページにアクセスした後、「IR メール配信」ボタンから、簡単にご登録いただけます(無料)。

www.daikoku.co.jp/ir

ダイコク電機　IR　検索



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
一単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	http://www.daikoku.co.jp

配当金受取方法等について

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
＊確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

ダイコク電機株式会社
〒450-8640　名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
TEL(052)581-7111(代表)
ホームページ　http://www.daikoku.co.jp

VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。